



令和5年度のスタートにあたって

校長 藤原 和彦

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます

六小の校庭にある大きな八重桜が今年もつぼみが開き始めています。令和5年度の連雀学園三鷹市立第六小学校の教育活動がスタートしました。本校3年目になる校長の藤原和彦です。保護者・地域の皆様には様々な面でお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

「**Children First**」

4月1日「こども家庭庁」が発足しました。設立の基本方針には、『常に、子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に据えて、(「こどもまんなか社会」)、子どもの視点で、などを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押する。そのために新たな司令塔として、こども家庭庁を創設する。』とあります。第六小学校では常に「**Children First**」を中心に教育活動を進めていきます。そして、これまで継続してきたことや努力してきたことが、大きく「成長する」、「飛躍を遂げる」そんな年にしていきたいと考えます。

連雀学園の子どもたちが未来の担い手として、これから社会を生き抜く資質・能力を身に付けるために、「主体的・対話的で深い学び」を実現した授業を進め、学力・心力・体力をバランスよく高めていきます。学力面では、今までの研究を継続し、今年度も知的コミュニケーションを活かした学びを目指します。そのためにも、一人一台家庭に配布されたタブレットを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を両輪とした学習活動を展開します。連雀学園が大切にしてきた学園研究は、体育・健康教育を中心実施します。二つ目の体力面とも関連しますが、昨年度の東京都小学校体育研究会研究協力校としての成果と課題を活かした体育・保健学習の授業改善を進めます。また、健康的な基本的生活習慣を身に付け、外遊びを奨励し、運動の日常化に取り組みます。そして、東京都健康教育推進校2年目の成果を令和6年2月16日に研究発表会を実施し、広く指導を受ける機会を設けます。三つ目の心の面では、自己肯定感、自己有用感を高めることを意識した授業改善・教育活動を行うとともに、学園全体でハイパーQUテストを実施し、よりよい人間関係づくりを進め、たくましく心豊かな六小の子どもの育成に努めます。

これらを進めるためには、教師自身の自主性・自律性が全ての鍵となります。一人一人の教員が自らの授業力を磨くと共に、OJTを生かし、互いに切磋琢磨する教師集団を目指します。そして、全教職員一丸となって、保護者・地域から信頼される「学校教育」の創造と実践に全力を尽くします。

「心のふるさとネットワーク」を活用したボランティアの方々の学習や行事への参加を再び推し進め、地域の力を学校に積極的に取り入れるとともに、地域・保護者と共に学校づくりを推進します。また、「小・中貫型小学校・中学校としての教育課程」「社会に開かれた教育課程」となるよう、CS委員会での協議を効果的に行うとともに、児童・生徒の意見や思いを学園運営や学校運営に取り入れるよう努力します。

本校は、令和5年度に創立70周年を迎えます。70周年記念行事では、より一層子どもたちの思いや願いを取り入れるとともに、学校、家庭、地域が協働して取り組む内容や方法を検討し、スクール・コミュニティ構想の実現に向けて努め、子どもたち・保護者・地域の方々、教職員にとってウェルビーイングな学校づくりを目指します。

保護者、地域の皆様には様々な面でお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。